



放熱グリスの塗布方法

放熱グリスの塗布はプロセッサを冷却するために欠かせません。修理作業でヒートシンクあるいはCPU...

作成者: Miroslav Djuric



はじめに

放熱グリスの塗布はプロセッサを冷却するために欠かせません。修理作業でヒートシンクあるいはCPUを取り出した後、この手順を参照してサーマルペーストを塗布してください。CPUに特化したより高度な方法についてはArctic Silverのページをご覧ください。

[application methods](#)

携帯電話に放熱グリスを塗布する方法については、[こちらのガイド](#)を参照してください。

🔧 ツール:

- [Arctic Silver ArctiClean](#) (1)
- [iFixit Thermal Paste](#) (1)
- [Arctic Silver 放熱グリス](#) (1)
- [Coffee Filters or a lint-free cloth](#) (1)
- [スパッジャー](#) (1)
- [イソプロピルアルコール](#) (1)

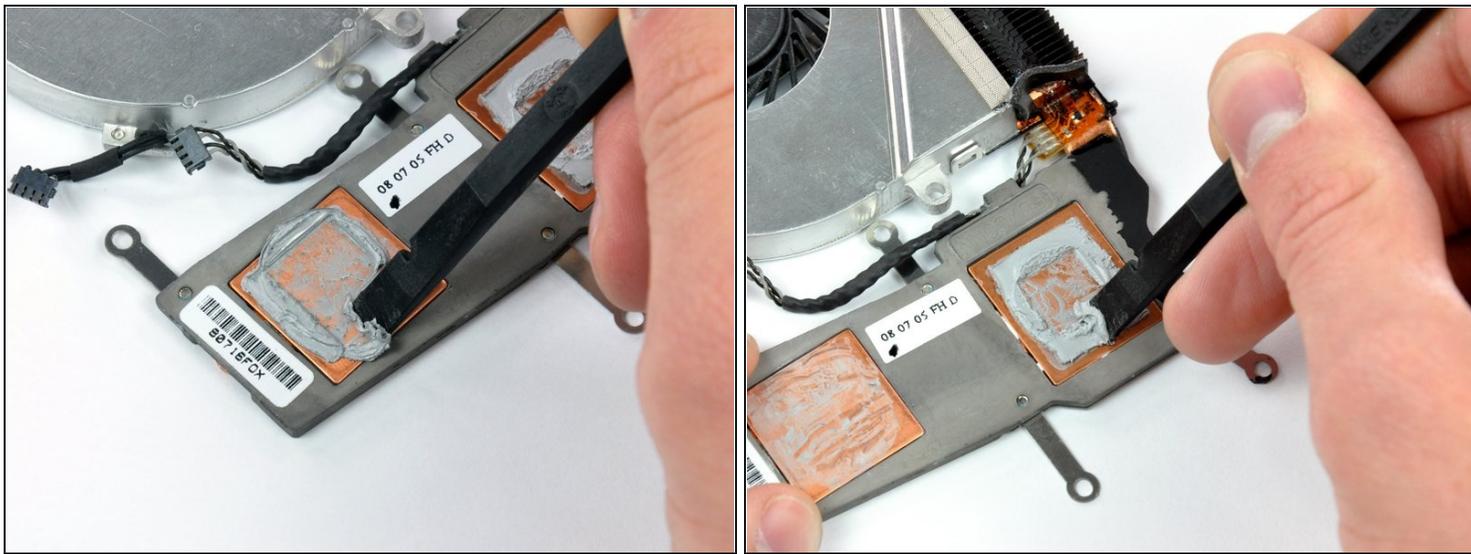
手順 1 — 概要



⚠️ 放熱グリスはプロセッサからヒートシンクへ熱を伝える役割をしています。放熱グリスを塗付しないでコンピューターを再組み立てると、プロセッサがオーバーヒートしてしまい、永久的なダメージにつながります。

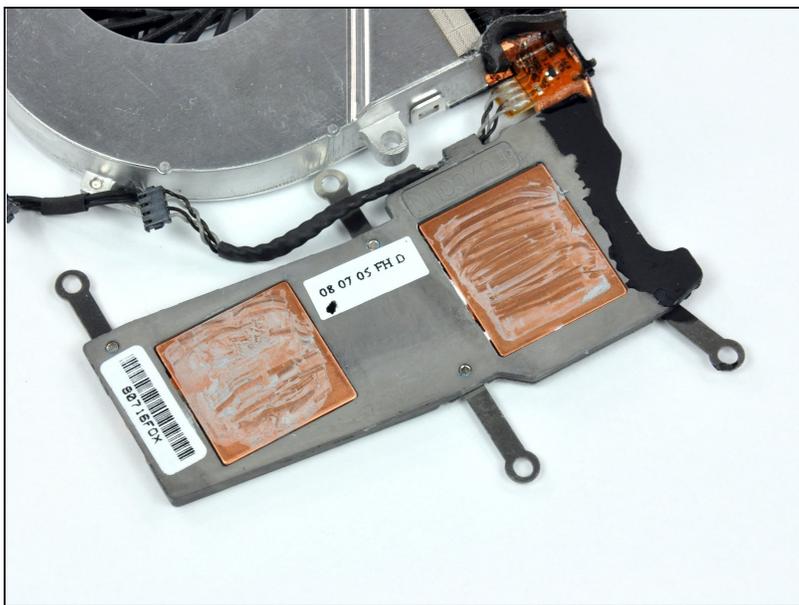
ⓘ 放熱グリスを塗布する前に、古い放熱グリスをプロセッサとヒートシンクから取り除いてください。

手順 2



- スパッジャーの平面側先端を使って、ヒートシンクの銅コアから凝固した放熱グリスを出来るだけ取り除いてください。

手順 3



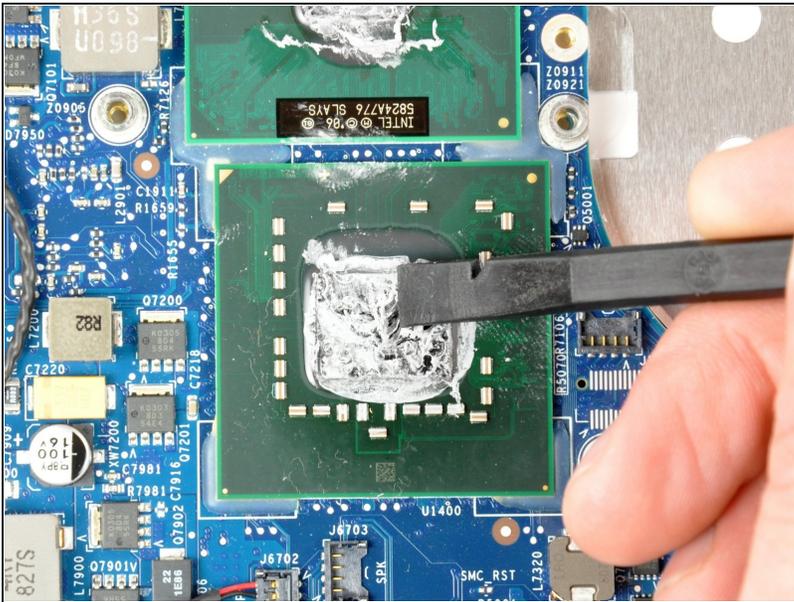
- ① 凝固した放熱グリスを取り除いた後でも、銅コア上に残余が残っています。

手順 4



- コーヒーフィルターか糸くずの出ないリントフリーの布に少量のイソプロピロアルコール(別名IPA、濃度90%以上)を使って、ヒートシンク上のサーマルコンタクト表面に塗付してください。
- IPAの代わりに、クリーニング専用の溶剤ArctiCleanサーマル素材リムーバーなどを使うこともできます。
- 表面上が綺麗になったら、新しいコーヒーフィルターかリントフリーの布にIPAを少量滴らして、表面上の油脂などを完全に拭き取ります。
- チップやヒートシンクを触らないでください。埃やゴミが付着するのを防ぎます。指紋でもチップ上に熱を伝導する障害となることがあります。
- ヒートシンクを完全に乾かします！

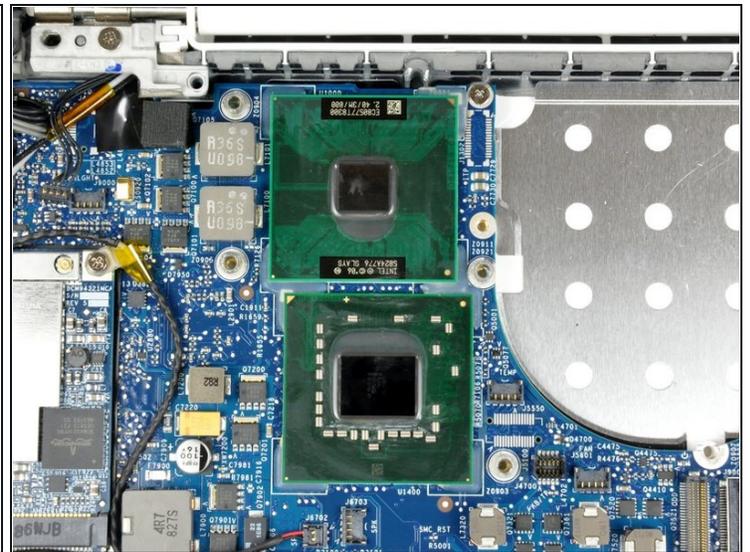
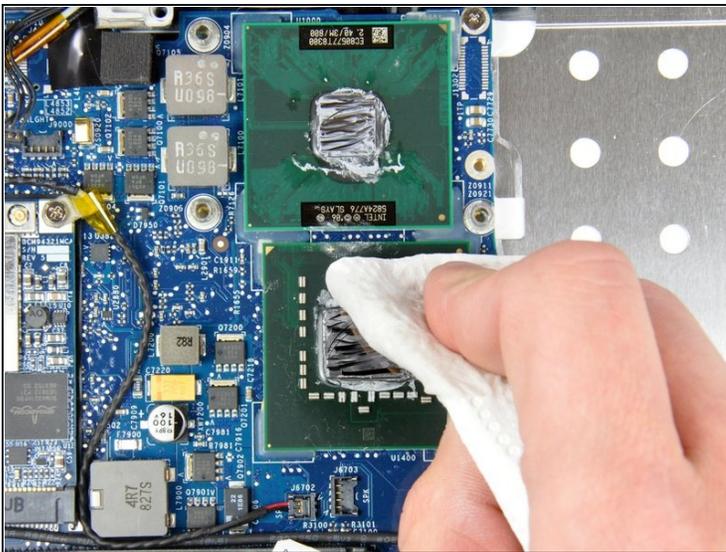
手順 5



- プラスチック製スパジヤーの平面側先端を使って、プロセッサ表面の凝固した放熱グリスを完全に取り除きます。

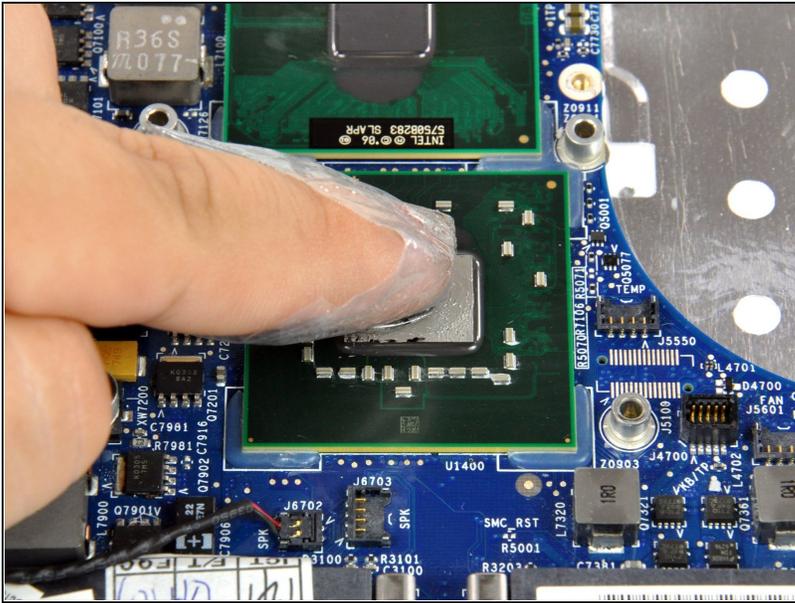
⚠ この手順ではメタル製のスパジヤーを使用しないでください。プロセッサ表面上のコンポーネントを壊さないように、サーマル部分がコンポーネント上で外れないようにご注意ください。（導電ペーストが問題の原因となることもあります）

手順 6



- 再度、コーヒーフィルターやリントフリーの布を使って、ArctiCleanサーマル素材リムーバーを1滴垂らして、プロセッサ表面上の放熱グリスを完全に取り除きます。
- 新しいコーヒーフィルターやリントフリーの布にIPAを数滴滴らして、表面上に付着した油脂やゴミを取り除きます。
- プロセッサが乾くのを待ちます！

手順 7



- 新しく放熱グリスを塗布するには、特定のプロセッサタイプ別に推奨される塗布方法に従ってください—垂直方向か、水平方向に塗布か、中央に点を描くように塗布するか、表面に塗布するかという違いです。表面上に広がると、気泡を閉じ込める可能性があることに注意してください。
- 放熱グリスを塗布する場合、以下の方法で行ってください。
 - サンドイッチ用のビニールバッグやサララップなどを人差し指の先端を巻きます。
 - ほんの僅かな量の放熱グリスをプロセッサコアの上に塗布します。
 - プロセッサコア全体に付けられた放熱グリスを丁寧に指で伸ばします。
- ① もし、アクシデントでプロセッサ上のグリーン色部分に放熱グリスが付いてしまった場合、特に問題とはなりません。
- これでプロセッサは新しいヒートシンク再装着の準備ができました。

- ① [Arctic Silver](#) は”着色している”ヒートシンクについて、サーマル混合物の間断を減らすため放熱グリスをヒートシンクに塗布するインストラクションを公開していますが、必ずしもヒートシンクに放熱グリスを塗布する必要はありません。
-

デバイスを再組み立てする際は、これらを逆の順番に従って作業を進めてください。